

## 『にほんごをまなぼう』12課 指導案(例)「じかんわり」

学齢	小1～中3	テキスト	『にほんごをまなぼう』(ぎょうせい)
学習者	漢字圏は教科名を漢字で理解できるが、非漢字圏は漢字の時間割を難しく感じている。給食の時間、休み時間、音楽など自分の好きな科目の読み書きは楽しい。時間の概念があるかどうかを確認する。		
備考	2～3名 漢字圏・非漢字圏 2,3時間かかるかもしれない		

学習目標	
1) 暦日、教科名、時間割 2) (時刻のいい方は次の時間に) 3) ～と～の間に長い休み時間があります(聞いてわかる) 4) ～の後に(前に)給食があります(「前に」、「後に」が聞いてわかる)	
準備: 通級(予定)の学校の時間割表、カレンダー ルビをふっておく(意欲の高い学習者ならルビをふらせる)	

内容	目的
導入	
T 時間割を見せる 非漢字圏の子どもにはルビがふってあるものを用意 どの教科が好きかをお互いに言う(母語が入っても良い) 時間割表の中から教科を見つける	
展開	
時間割表に曜日が書いてあることに気付かせ、一緒に読む「月曜日、火曜日…。日曜日はありません。学校はお休みです」 カレンダーを見て、曜日を言う。 リズムをつけて日付の言い方を唱える。 「ついたち、ふつか、みっか、…」 自分や家族の誕生日をカレンダーで見つけて言う 「〇月〇日は私の誕生日です」	時間割、曜日、暦日に興味を持ってもらう
休憩	
2時間目・教科書・文法・発話	
導入	
数字の復習 数字カード、ビンゴゲーム	
文字	
数字のディクテーション ひらがな練習帳(宿題チェック)	
まとめ 時計を指して、〇時〇分です。終わります。 復唱。 プリントを配る。(宿題)	